

MEMSパークコンソーシアム

MEMSパークコンソーシアムとは (2004年設立)

産学官の連携により、国内外の研究開発機関等の支援組織とのネットワークを構築し、MEMSを中心としたマイクロデバイス分野の研究開発・産業化促進を行っています。具体的には、情報共有、会員相互・支援機関等とのネットワーク構築支援のための交流会、技術相談事業を実施するとともに、MEMS分野の技術開発を担う人材の育成を行っています。

初代代表 江刺 正喜 (東北大学 名誉教授)

代表 戸津 健太郎 (東北大学マイクロシステム融合研究開発センター長・教授)



MEMSパークコンソーシアムの可能性を一言でいうならば、オープンな環境で情報を共有するところから生まれる極めて競争力の高いモノづくりです。研究開発の初期段階では、さまざまなMEMSの研究情報を特定の関係者が囲い込むのではなく、むしろ胸襟を開いて共にテーマを掘り下げ、早い段階でニーズを把握する。そこから具体的な解決技術を各企業の製品領域に転用していくほうが、遥かにお互いの利益につながるが多い。そのための環境づくりがコンソーシアム創設の動機です。間口が広く奥が深いMEMSによる製品開発をめざすとき、これが最も有効な手法のひとつであると考えています。

組織図



主な活動

■情報発信

MEMS集中講義 (夏期に3日間、受講無料) や他機関との連携による効果的なセミナー、異分野融合のためのマッチングイベントを開催しています。

■人材育成

企業向けに基礎講座・設計実習・試作実習を実施するとともに、高校生～大学院生等を対象に「iCAN」国内予選の開催及び世界大会参加支援を実施しています。

■技術相談

WEBや展示会のほか、技術相談メーリングシステムによるネットワークを活用して課題解決を支援しています。

現在 会員企業 約40社

International Contest of Innovation (iCAN)



MEMS等のマイクロデバイスを活用した役に立つアプリケーションを製作して発表する学生向けのコンテスト。MEMSパークコンソーシアムが日本予選を毎年開催し、上位チームを世界大会に派遣。日本信号、アルプスアルパインからMEMSデバイスを提供いただいています。



MEMS集中講義

大学に蓄積された知識、学会等の最新情報の提供

↓
共用設備の利用、共同研究等による研究開発の推進、効率化

参加無料、申し込み不要

2006年 8/23-25	東京	参加者 280名
2007年 8/22-24	仙台	参加者 80名
2008年 8/20-22	福岡	参加者 150名
2009年 8/4-6	名古屋(豊田中研)	参加者 100名
2010年 8/5-7	つくば(産総研)	参加者 211名
2011年 8/9-11	京都(立命館大)	参加者 170名
2012年 8/22-24	東京(東大)	参加者 226名
2013年 8/7-9	つくば(筑波大)	参加者 110名
2014年 8/5-7	大阪(関西大)	参加者 130名
2015年 8/5-7	豊橋(豊橋技科大)	参加者 161名



2016年 8/3-5	仙台(東北大)	参加者 116名
2017年 7/31-8/2	川崎	参加者 181名
2018年 8/2-4	名古屋(豊田工大)	参加者 78名
2019年 7/29-31	川崎	参加者 134名
2020年 8/19-21	ライブ配信	登録者 280名
2021年 8/2-4	ライブ配信	登録者 315名
2022年 8/8-10	高松(香川大)	現地約30名 登録者 283名
2023年 8/8-10	北九州(FAIS) ハイブリッド	参加者 現地約30名 登録者 278名

MEMS

PARK CONSORTIUM